

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月17日

計画の名称	丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり(防災・安全)(第2期)														
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	丸亀市														
計画の目標	丸亀市浄化センターの再構築により下水道施設の安定を図り、地域の安全・安心を創出するとともに、瀬戸内海をはじめとした公共用水域の水環境を保全する。 下水道施設の老朽化対策及び事前防災・減災対策を図り、市民の安全・安心な暮らしを守る。														
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		10,114	A	10,114	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)		0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	丸亀市浄化センターの再構築による整備率を17%(R3当初)~100%(R7末)に向上させる。			
	丸亀市浄化センターの再構築による整備率	17%	96%	100%
	再構築により整備が図られた施設数(施設)/再構築により整備が必要な施設数(施設)			
2	丸亀市の下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント計画による改築率を37%(R3当初)~100%(R7末)に向上させる。			
	丸亀市の下水道施設(ポンプ場)におけるストックマネジメント計画による改築率	49%	62%	100%
	下水道ストックマネジメント計画(ポンプ場)に基づいて改築した施設数(施設)/改築が必要な施設数(施設)			
3	丸亀市の下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント計画による改築更新率を5%(R3当初)~100%(R7末)に向上させる。			
	丸亀市の下水道施設(管渠)におけるストックマネジメント計画による改築更新率	5%	60%	100%
	下水道ストックマネジメント計画(管渠)に基づいて改築更新した延長(km)/改築更新が必要な延長(km)			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	終末処 理場	改築	丸亀市浄化センター再構 築事業	用地取得、実施設計、再構築 工事、旧処理場撤去工事	丸亀市	■	■	■	■	■	8,149		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	ポンプ 場	改築	塩屋ポンプ場他 5 施設	実施設計、老朽化対策工事	丸亀市	■	■	■	■	■	1,215		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	-	改築	城北第 3・4・5、蓬萊 第 1、塩屋、昭和処理分 区他	実施設計、老朽化対策工事 L=2.8km	丸亀市	■	■	■	■	■	549		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	ポンプ 場	改築	塩屋ポンプ場他 5 施設	施設耐震・耐水化計画策定、 実施設計、耐震・耐水化工事	丸亀市	■	■	■	■	■	181		-
	A07-005	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	-	新設	今津、中府、土器排水区 他	測量設計、雨水幹線等改修、 ポンプ場建設等、浸水対策、 雨水管理総合計画策定、内水 浸水想定区域図作成等、用地 取得等	丸亀市	■	■	■	■	■	17		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-006	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	ポンプ 場	改築	塩屋ポンプ場他2施設	実施設計、老朽化対策工事	丸亀市		■	■	■	■	0		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-007	下水道	一般	丸亀市	直接	丸亀市	管渠（ 合流）	新設	丸亀市公共下水道	下水道管路情報デジタル化	丸亀市				■	■	3		-	
		DX																		
												小計						10,114		
												合計						10,114		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	1,362	1,286	1,378		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	1,362	1,286	1,378		
前年度からの繰越額 (d)	1,281	861	385		
支払済額 (e)	1,782	1,762	1,479		
翌年度繰越額 (f)	861	385	284		
うち未契約繰越額(g)	124	71	36		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.69	3.3	2.04		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

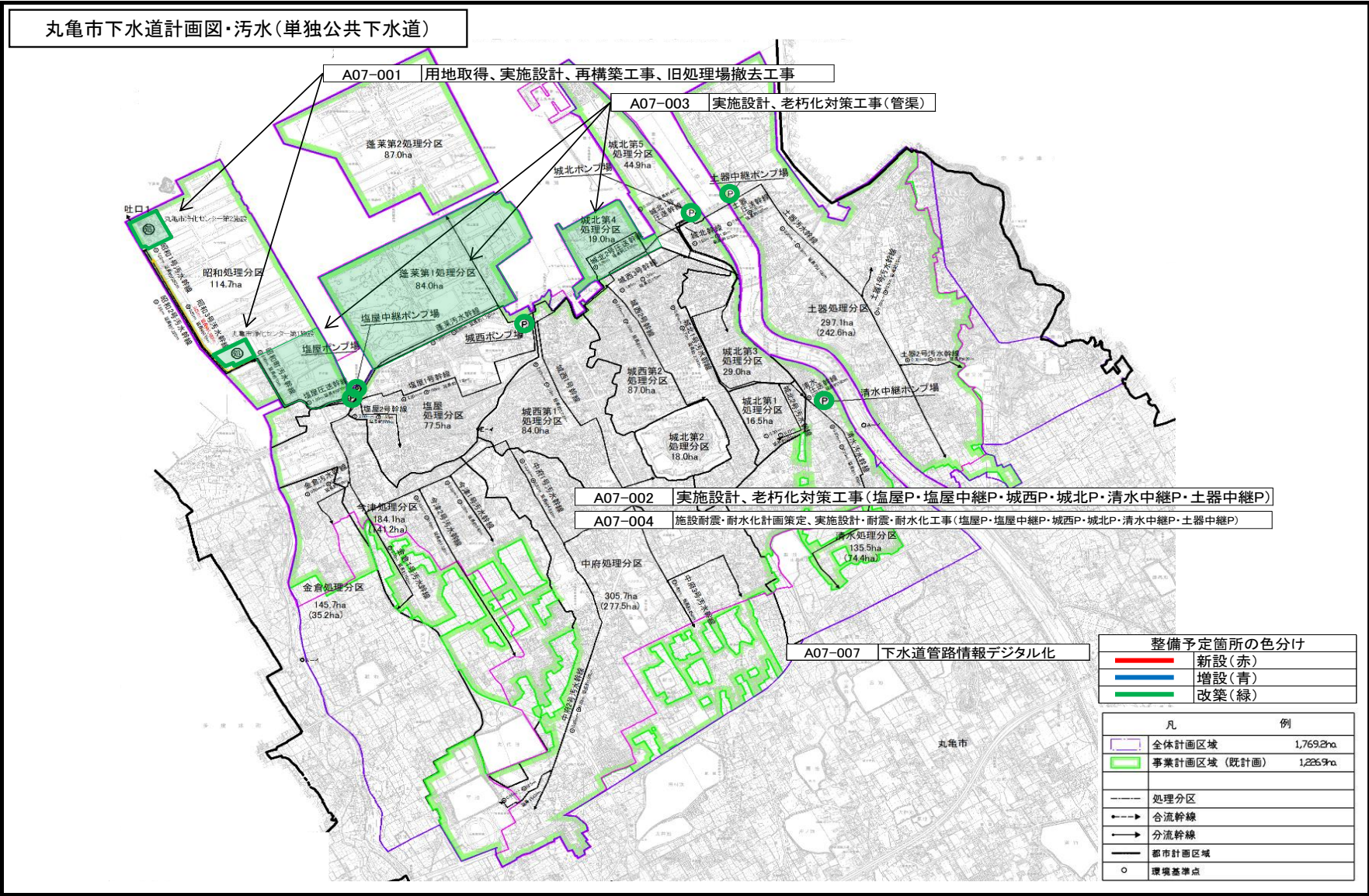
計画の名称： 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり(防災・安全)(第2期)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 (計画名 備讃瀬戸海域流域別下水道整備計画、下水道事業計画、丸亀市下水道長寿命化計画、第7次総量削減計画)	
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と事業内容の整合性等	
I. 目標の妥当性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○

[illegible]

(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	1 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり (防災・安全) (第2期)		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)	交付対象	丸亀市



(参考図面) 防災・安全交付金

計画の名称	1 丸亀市における地域の暮らしを守る安全・安心な下水道づくり (防災・安全) (第2期)		
計画の期間	令和3年度 ～ 令和7年度 (5年間)	交付対象	丸亀市

